	工業高等	専門学校	開講年度	令和06年度(2	2024年度)	授業科目	電子情報工学実験 I	
科目基礎			,	,				
科目番号	∕~ II ≯TIΛ	20342			科目区分	専門 / 必	修	
<u></u>			実験・実習・実技			故 履修単位		
開設学科			夫験・夫督・夫技 電子情報工学科			1	_	
開設期		通年			対象学年 週時間数	2		
						・パーダー 12		
教科書/教	X1/1	作製キット、	関連のプリント	`				
担当教員		越野 亮,山田	健二,川除 佳和	,任田 崇吾,廣瀬 慈	恩			
到達目標								
2. 部品 3. Winc 4. 表計 5. アキル 7. 基効果 9. 効果	をはんだ付に dowsの基本的 処理の基本的 算ソフトで関 ログメータの ヒホッフの 的なプレゼン	電流では、 電流では、 でできる。 が操作ができる。 が操作ができる。 が表ができる。 が表ができる。 がまれいできる。 は別を用いてがらい。 に関いていている。 できる。 で。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 で。 で。 で。 で。 で。 で。 で。 で。 で。 で	を組み立てること うフが作成できる している。 国路を組むことか できる。	る。 e計算できる。 ができる。				
ルーブリ								
		I.	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベル	 Lの目安	未到達レベルの目安	
			直流回路の計測手法を理解・説明		直流回路の計測手法を理解し、キ		THE TOTAL TO	
到達目標 項目 1, 6		- 1	でき、キルヒホッ	ッフの法則を用い の電圧・電流を計	ルピホップの法則を用いた基本的な回路の電圧・電流を計算できる。		直流回路の計測手法および計算方 法を全く理解できない。	
到達目標 項目 3, 4, 5, 9			オフィスアプリ? な使い方を理解		Windowsの基本的な操作が行え、 オフィスアプリケーションの基本 的な使い方を理解・説明できる。		Windows、および、オフィスアプ リケーションの基本的な使い方を 全く理解できない。	
到達目標 項目 2, 8			部品のはんだ付い 電子回路を作成 ^っ 的に説明できる。	けによる基本的な でき、それを論理 ・	部品のはんだ付け(電子回路を作成です		部品のはんだ付けによる基本的な 電子回路を作成できない。	
到達目標 項目 10			定のテーマでの実験・演習の実 ・取り組み内容のレポートによ 報告など、一連の内容が要求水 を超えており、所定の期日まで 完了するとともに、欠席がなか た。		み内容が適切に とめられ,所定	に れぞれにおいて、大きな不備があ		
							できない)。	
		目との関係					できない)。	
本科学習	目標 1 本科	 目との関係 	学習目標 4				できない)。	
本科学習[目標 1 本科		学習目標 4				できない)。	
	目標 1 本科	学習目標 2 本科 電子情報工学 習を通して技	学の基礎知識をよ 5術者として必要	い実践的に活用で な基礎学力を養う より表現力の向上	。さらに,実験グル・	, 各専門科目の 一プ内での対話	できない)。 基礎となる題目について,実験,演 などを通して課題の解決力を養い	
本科学習[教育方法] 教育方法 概要	目標 1 本科	学習目標 2 本科 電子情報工学 習を通してを 実験の準にを 実験前で学んと 実験で学科目】 【MCC対応】 育対応科目	学の基礎知識をよる が者として必要とまとめることに でままとめるこの内容 でも担当者に提出 専門科目の基別 電子情報工学基 IV-A 工学実験	な基礎学力を養うこより表現力の向上 より表現力の向上 いるでいるとうである。 を理解している必 を理解している必 をででは、プログラミ技術、V-C-6計測	。さらに, 実験グル を図る。 後の結果 (データ) (あります。 受があります。 :ング基礎 I VI-C 電気・電子系	ープ内での対話 の整理が大切で 分野(実験・ま	基礎となる題目について,実験,演などを通して課題の解決力を養いす。	
本科学習I 教育方法 概要 授業の進む	目標 1 本科学 去等	望回 電習 、 実実授関	をの基本とという。 を必要というでは、 を必要とのでは、 を必要とのでは、 を必要にできました。 を必要にできません。 を必要にできません。 を必要にできません。 を必要にできません。 を必要にできません。 できまません。 できままなな。 できままなな。 できままなな。 できままなな。 できままなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまななな。 できまななな。 できまななな。 できまななな。 できなななな。 できなななな。 できななななななな。 できななななななな。 できなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	な基礎学力を養う上まり表現力の向上のでは、 なり表現力のでは、 なりを理解しているうでは、 を理解しているうでは、 を連び、、 V-C-6計判 は、 ででは、 ででは、 でいるが、 したでは、 でいるが、 したでします。 ないでは、 でいるが、 かられたれた。 でいるが、 かられたれた。 でいるが、 からない、 近くでは、 でいるが、 からない、 近くでは、 でいるが、 からない しょう できる いっと ないがい からない しょう でんき はい しょう でんき しょう	。さらに、実験グルを図る。 後の結果(データ)の表すすます。 ※グラングをでする。 ※グラングをでする。 ※グラングをでする。 ※グラングをでする。 ※グラングをでする。 ※グラングをでする。 ※グラングをでする。 ※グラングをできる。 ※グをできる。 ※グをできる。 ※グをできる。 ※グをできる。 ※グをできる。 ※グをできる。 ※グをできる。 ※グをでる	ープ内での対話 の整理が大切で 分野 (実験・ 引するこ。 全マがある。 テー人価での評価点が 0 提出遅れなど)	基礎となる題目について,実験,演などを通して課題の解決力を養いす。 習能力), VII 汎用的技能,情報教	
本科学習I 教育方法 概要 授業の進む	目標 1 本科学 去等	望回 電習 、 実実授関	をの基本とという。 を必要というでは、 を必要とのでは、 を必要とのでは、 を必要にできました。 を必要にできません。 を必要にできません。 を必要にできません。 を必要にできません。 を必要にできません。 できまません。 できままなな。 できままなな。 できままなな。 できままなな。 できままなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまななな。 できまななな。 できまななな。 できまななな。 できなななな。 できなななな。 できななななななな。 できななななななな。 できなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	な基礎学力を養う上まり表現力の向上のでは、 なり表現力のでは、 なりを理解しているうでは、 を理解しているうでは、 を連び、、 V-C-6計判 は、 ででは、 ででは、 でいるが、 したでは、 でいるが、 したでします。 ないでは、 でいるが、 かられたれた。 でいるが、 かられたれた。 でいるが、 からない、 近くでは、 でいるが、 からない、 近くでは、 でいるが、 からない しょう できる いっと ないがい からない しょう でんき はい しょう でんき しょう	。さらに、実験グルを図る。 後の結果(データ)の あります。 要があります。 ことが基礎 I VI-C 電気・電子系 限内に提出すること質 レポート点数の平均 の内訳で約のデーマ	ープ内での対話 の整理が大切で 分野 (実験・ 引するこ。 全マがある。 テー人価での評価点が 0 提出遅れなど)	「できない)。 基礎となる題目について,実験,演などを通して課題の解決力を養いす。 習能力),VII 汎用的技能,情報教 る。 マのレポートを,テーマごとの提出 で平均した結果を成績とする。成績 点となった場合には,学年成績は	
本科学習I 教育方法 概要 授業の進む	目標 1 本科学	学習 電習 , 実実授 (育 実到 に 前期の の目 に 本 と で ま い か に か に か に か に か に か に か に か に か に か	をの基本とという。 を必要というでは、 を必要とのでは、 を必要とのでは、 を必要にできました。 を必要にできません。 を必要にできません。 を必要にできません。 を必要にできません。 を必要にできません。 できまません。 できままなな。 できままなな。 できままなな。 できままなな。 できままなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまななな。 できまななな。 できまななな。 できまななな。 できなななな。 できなななな。 できななななななな。 できななななななな。 できなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	な基礎学力を養う上まり表現力の向上のでは、 なり表現力のでは、 なりを理解しているうでは、 を理解しているうでは、 を連び、、 V-C-6計判 は、 ででは、 ででは、 でいるが、 したでは、 でいるが、 したでします。 ないでは、 でいるが、 かられたれた。 でいるが、 かられたれた。 でいるが、 からない、 近くでは、 でいるが、 からない、 近くでは、 でいるが、 からない しょう できる いっと ないがい からない しょう でんき はい しょう でんき しょう	。さらに、実験グルを図る。 後の結果(データ)の表すすます。 ※グラングをでする。 ※グラングをでする。 ※グラングをでする。 ※グラングをでする。 ※グラングをでする。 ※グラングをでする。 ※グラングをでする。 ※グラングをできる。 ※グをできる。 ※グをできる。 ※グをできる。 ※グをできる。 ※グをできる。 ※グをできる。 ※グをできる。 ※グをでる	ープ内での対話 の整理が大切で 分野 (実験・ 引するこ。 全マがある。 テー人価での評価点が 0 提出遅れなど)	基礎となる題目について,実験,演などを通して課題の解決力を養いす。 習能力), VII 汎用的技能,情報教 る。 マのレポートを,テーマごとの提出 で平均した結果を成績とする。成績 点となった場合には,学年成績は	
本科学習I 教育方法 既要 受業の進む 主意点 テスト 授業の原	目標 1 本科学 去等 め方・方法	学習目標 2 本科 習目標 2 本科 電習 , 実験業業関係で 実実授関ので連定で応の目標を対対科 レ標方評の基本状ー 第29 東京では、の目標を表示で、第20 では、 第20 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	をの基礎としている。 は、ここの人間では、 は、ここの人間では、 は、ここの人間では、 は、ここの人間では、 は、ここの人間では、 は、ここの人間では、 は、ここの人間では、 は、ここの人間では、 は、ここの人間では、 は、ここに、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	な基礎学力を養う上まり表現力の向上のでは、 なり表現力のでは、 なりを理解しているうでは、 を理解しているうでは、 を連び、、 V-C-6計判 は、 ででは、 ででは、 でいるが、 したでは、 でいるが、 したでします。 ないでは、 でいるが、 かられたれた。 でいるが、 かられたれた。 でいるが、 からない、 近くでは、 でいるが、 からない、 近くでは、 でいるが、 からない しょう できる いっと ないがい からない しょう でんき はい しょう でんき しょう	。さらに、実験グルを図る。 後の結果(データ)の あます。ます。 ことがある。 という基礎 I VI-C 電気・電子系 限内に上に対しのいずれいののにです。 にいず、いずれかのデースに対しています。 は、14日間を超別理と検討,提出期限。	ープ内での対話 の整理が大切で 分野 (実験・ 引するこ。 全マがある。 テー人価での評価点が 0 提出遅れなど)	基礎となる題目について,実験,演などを通して課題の解決力を養いす。 書習能力),VII 汎用的技能,情報教 る。 マのレポートを,テーマごとの提出 で平均した結果を成績とする。成績 点となった場合には,学年成績は 40%	
本科学習I 教育方法 既要 受業の進む 主意点 テスト 受業の原	目標 1 本科学	学習目標 2 本科 習目標 2 本科 電習 , 実験業業関係で 実実授関ので連定で応の目標を対対科 レ標方評の基本状ー 第29 東京では、の目標を表示で、第20 では、 第20 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	をの基本とという。 を必要というでは、 を必要とのでは、 を必要とのでは、 を必要にできました。 を必要にできません。 を必要にできません。 を必要にできません。 を必要にできません。 を必要にできません。 できまません。 できままなな。 できままなな。 できままなな。 できままなな。 できままなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまなな。 できまななな。 できまななな。 できまななな。 できまななな。 できなななな。 できなななな。 できななななななな。 できななななななな。 できなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	な基礎学力を養う上まり表現力の向上のでは、 なり表現力のでは、 なりを理解しているうでは、 を理解しているうでは、 を連び、、 V-C-6計判 は、 ででは、 ででは、 でいるが、 したでは、 でいるが、 したでします。 ないでは、 でいるが、 かられたれた。 でいるが、 かられたれた。 でいるが、 からない、 近くでは、 でいるが、 からない、 近くでは、 でいるが、 からない しょう できる いっと ないがい からない しょう でんき はい しょう でんき しょう	。さらに、実験グルを図る。 後の結果(データ)の表すすます。 ※グラングをでする。 ※グラングをでする。 ※グラングをでする。 ※グラングをでする。 ※グラングをでする。 ※グラングをでする。 ※グラングをでする。 ※グラングをできる。 ※グをできる。 ※グをできる。 ※グをできる。 ※グをできる。 ※グをできる。 ※グをできる。 ※グをできる。 ※グをでる	ープ内での対話 の整理が大切で 分野 (実験・ 引するこ。 全マがある。 テー人価での評価点が 0 提出遅れなど)	基礎となる題目について,実験,演などを通して課題の解決力を養いす。 習能力), VII 汎用的技能,情報教 る。 マのレポートを,テーマごとの提出 で平均した結果を成績とする。成績 点となった場合には,学年成績は	
本科学習E 教育方法	目標 1 本科学 去等 め方・方法	学習目標 2 本科 習目標 2 本科 電習 , 実験業業関係で 実実授関ので連定で応の目標を対対科 レ標方評の基本状ー 第29 東京では、の目標を表示で、第20 では、 第20 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	をの基礎としている。 は、ここの人間では、 は、ここの人間では、 は、ここの人間では、 は、ここの人間では、 は、ここの人間では、 は、ここの人間では、 は、ここの人間では、 は、ここの人間では、 は、ここの人間では、 は、ここに、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	な基礎学力を養う上まり表現力の向上のでは、 なり表現力のでは、 なりを理解しているうでは、 を理解しているうでは、 を連び、、 V-C-6計判 は、 ででは、 ででは、 でいるが、 したでは、 でいるが、 したでします。 ないでは、 でいるが、 かられたれた。 でいるが、 かられたれた。 でいるが、 からない、 近くでは、 でいるが、 からない、 近くでは、 でいるが、 からない しょう できる いっと ないがい からない しょう でんき はい しょう でんき しょう	。さらに、実験グルを図る。 後の結果(データ)の あます。ます。 ことがある。 という基礎 I VI-C 電気・電子系 限内に上に対しのいずれいののにです。 にいず、いずれかのデースに対しています。 は、14日間を超別理と検討,提出期限。	ープ内での対話 の整理が大切で 分野 (実験・ 引するこ。 全マがある。 テー人価での評価点が 0 提出遅れなど)	基礎となる題目について,実験,演などを通して課題の解決力を養いす。 図部力), VII 汎用的技能,情報教 る。 マのレポートを,テーマごとの提出 点となった場合には,学年成績は 40%	
本科学習E 教育方法	目標 1 本科学 去等 め方・方法	望 電響 2 本科 で 2 本科 で 2 本	をの基礎とは を必要に を必要に を必要に してこのに は要でで ででで ででで ででで ででで ででで を必要に ででで ででで ででで ででといる ででで ででで ででで ででで ででといる ででとい。 ででといる ででとといる ででといる ででといる ででとといる ででとといる ででとといる ででとといる ででとといる ででとといる ででといる ででとといる ででとといる ででとといる ででとといる ででとといる ででとといる ででと ででと ででと ででと ででと ででと ででと でで	な基礎学力を養う上まり表現力の向上のでは、 なり表現力のでは、 なりを理解しているうでは、 を理解しているうでは、 を連び、、 V-C-6計判 は、 ででは、 ででは、 でいるが、 したでは、 でいるが、 したでします。 ないでは、 でいるが、 かられたれた。 でいるが、 かられたれた。 でいるが、 からない、 近くでは、 でいるが、 からない、 近くでは、 でいるが、 からない しょう できる いっと ないがい からない しょう でんき はい しょう でんき しょう	。さらに、実験グルを図る。 後の結果(データ)の 後の結果(データ)の あます。ます。 このではます。 このでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	ープ内での対話 の整理が大切で 分野(実験・ま 。	▼できない)。 基礎となる題目について,実験,演などを通して課題の解決力を養いす。 図部力), VII 汎用的技能,情報教 る。 マのレポートを,テーマごとの提出 で平均した結果を成績とする。成績 点となった場合には,学年成績は 40% □ 実務経験のある教員による授業	
本科学習[教育方]	目標 1 本科学 去等 め方・方法	学習	をの基礎とよる。 を必要に を必要に を必要に を必要に ででである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 ででのある。 ででのある。 ででのある。 ででのある。 ででのある。 ででのある。 ででのある。 ででのある。 ででのある。 ででのある。 ででのある。 ででのある。 ででのある。 ででのある。 ででのある。 ででのある。 ででのなが、 ででのでのででのででのででのででのででのででのででのででででででのでででででで	は基礎学力を養う上まり表現力のでは、 では、	。さらに、実験グルを図る。 後の結果(データ)の 後の結果(データ)の あります。ます。 :ング基では、電気・電子系 WI-Cで電気・電子系 RVI-Cで提出するして、 RVボートにおかののに、 ルポートで総かので、 があずれかので、 がまで、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	ープ内での対話 の整理が大切で 分野(実験・す 。	基礎となる題目について,実験,演などを通して課題の解決力を養いす。 図能力),VII 汎用的技能,情報教 る。 マのレポートを,テーマごとの提出で平均した結果を成績とする。成績点となった場合には,学年成績は40%	
本科学習I 教育方法 既要 受業の進む 主意点 テスト アクラ	目標 1 本科学 去等 め方・方法	学習 電響 2 本科	をの基礎としる 前者目 N に と は で と で と で と で と で と で と で と で と で と	な基礎学力を養う上まり表現力の向上のでは、 なり表現力のでは、 なりを理解しているうでは、 を理解しているうでは、 を連び、、 V-C-6計判 は、 ででは、 ででは、 でいるが、 したでは、 でいるが、 したでします。 ないでは、 でいるが、 かられたれた。 でいるが、 かられたれた。 でいるが、 からない、 近くでは、 でいるが、 からない、 近くでは、 でいるが、 からない しょう できる いっと ないがい からない しょう でんき はい しょう でんき しょう	。さらに、実験グルを図る。 後の結果(データ)の を図る。 後の結果(データ)の あます。ます。 シグ基でででででである。 ・ VI-Cでででである。 、 VI-Cででである。 、 VI-Cでは、数ののには、からいずれかののにができます。 ・ と質は、 とのでは、 ・ は、14日間を超別を ・ は、14日間を ・ は、14日間を は、14日間	ープ内での対話 の整理が大切で 分野(実験・す 。問することがある。テームでのでのでのででのでででででででででででででででででででででででででででで	基礎となる題目について,実験,演などを通して課題の解決力を養いす。 図部力), VII 汎用的技能,情報教 る。 マのレポートを,テーマごとの提出 点となった場合には,学年成績は 40% □ 実務経験のある教員による授業	
本科学習I 教育方法 思要 受業の進む 主意点 テスト 受業の原	目標 1 本科学 去等 め方・方法	望目標 2 本科 習目標 2 本科 電習, 実験業業関係で連て応の目に 一準に学科対科 レ標方評で基上が、 一等技をと響い、 実質関係が、の目価末ま価を験ポーク の目で連びでのの目では、 で連びででででででででででででででででででででででででででででででででででで	をの基礎とよる。 を必要に を必要に を必要に を必要に ででである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 ででのある。 ででのある。 ででのある。 ででのある。 ででのある。 ででのある。 ででのある。 ででのある。 ででのある。 ででのある。 ででのある。 ででのある。 ででのある。 ででのある。 ででのある。 ででのある。 ででのなが、 ででのでのででのででのででのででのででのででのででのででででででのでででででで	は基礎学力を養う上まり表現力のでは、 では、	。さらに、実験グルを図る。 後の結果(データ)の を図る。 後の結果(データ)の あます。ます。 シグ基でででででである。 ・ VI-Cでででである。 、 VI-Cででである。 、 VI-Cでは、数ののには、からいずれかののにができます。 ・ と質は、 とのでは、 ・ は、14日間を超別を ・ は、14日間を ・ は、14日間を は、14日間	ープ内での対話 の整理が大切で 分野(実験・す 。問することがある。テームでのでのでのででのでででででででででででででででででででででででででででで	基礎となる題目について,実験,演などを通して課題の解決力を養いす。 『習能力), Ⅵ 汎用的技能,情報教 る。 マのレポートを,テーマごとの提出で平均した結果を成績とする。成績点となった場合には,学年成績は40%	
本科学習I 教育方法 思要 受業の進む 主意点 テスト 受業の原	目標 1 本科学 去等 め方・方法	望目標 2 本科 習目標 2 本科 電習, 実験業業関係の 実実授関ので連びで連びでででででである。 実験業業関係が、の目で連びででででである。 で連びででででである。 で連びでででである。 では、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できない。 は、できないできないできないできないできないできないできないできないできないできない	をの基礎としる 前者目 N に と は で と で と で と で と で と で と で と で と で と	な基礎学力を養う上でない。 はより表現力の向上でである。 はいてもいていができない。 はな理解、アーマーのでは、 はなが、はいずでは、アーマーのでは、 はなが、できない。は、 はなが、できない。ないでは、 はなが、が、 はなが、が、 はながが、 はながが、 はな	。さらに、実験グルを図る。 後の結果(データ)の表すす。 ※の結果(データ)の表すす。ます。 ※ング基礎 I VI-C 電 出することでは、 取内に提出することでは、 取内に表対ののに、 レポートに総合的デーマーンでは、 があります。 では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	ープ内での対話 の整理が大切で 分野(実験・身。 問することがを とする。テー価での評価点が 提出遅れなど) など) 60%	基礎となる題目について,実験,演などを通して課題の解決力を養いす。 図部力), VII 汎用的技能,情報教 る。 マのレポートを,テーマごとの提出 点となった場合には,学年成績は 40% □ 実務経験のある教員による授業 電流・抵抗を測定できる。	
本科学習I 教育方法 思要 受業の進む 主意点 テスト 受業の原	目標 1 本科学 去等 め方・方法	学習目標 2 本科 電習, 実実授関ので連びにの目による。 実実授関ので連びにのの目ので連びにのの目ので連びにのの目ので連びにのの目ので連びにのの目ので連びにのの目ので連びにのの目ので連びにのの目ので連びにいる。 で連びにのの目ので連びにいる。 で連びには、までは、までは、までは、までは、までは、までは、までは、までは、までは、まで	をの基礎ととの基礎ととの基礎との事業を必要にできまして、10世間では、10世には、10世には、10世には、10世には、10世には、10世には、10世には、10世には、10世には、10世には、10世には、10世には、10世には	な基礎学力を養う上でなり、 はより表現力の向上でである。 はいてもいていがらいできたが、 V-C-6計算が、 V-C-6計算が、 V-C-6計算が、 V-C-6計算が、 V-C-6計算が、 V-C-6計算が、 V-C-6計算が、 V-C-6計算が、 V-C-6計算が、 V-C-0ができた。 ない できた アーマン できた アース できたい アース できた	。さらに、実験グルを図る。 後の結果(データ)の 後の結果(データ)の ます。ます。 こングを電気・電子系 限内にに提りに、数ののににより、いずれいでれたがののに、、いずれがののに、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	一プ内での対話の整理が大切で分野(実験・することをマールでの評価点がの提出遅れなど)をなど) 60% ごとの到達目標 流回路の電圧・	基礎となる題目について,実験,演などを通して課題の解決力を養いす。 図能力), VII 汎用的技能,情報教 る。 マのレポートを,テーマごとの提出で平均した結果を成績とする。成績点となった場合には,学年成績は 40% □ 実務経験のある教員による授	
本科学習話教育方法 概要 受業の進む テンス 業の で 受業計画 で 大学 アクラ	目標 1 本科学 去等 め方・方法	望回標 2 本科 電習 , 実実授 関	をの基礎とと内に を必要に を必要に との事者目のにの工実 でである。 では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点	な基礎学力を養う上でない。 はより表現力の向上でである。 はいてもいていができない。 はいてもいができない。 はいでは、アーマンのでは、できない。 はいでは、できないできないできないできないできないできないできないできないできないできない	。さらに、実験グルを図る。 後の結果(データ)の 後の結ます。。 後のおます。ます。。 シグと電気 ます。。 シグと電気 ます。 マグ・マークに、できるのでである。 、VI-C に提下 に対し、のでである。 、VI-C には、数ののでである。 、大学では、できるでは、できる。 、は、14日が、は、14日が、は、14日が、は、14日が、は、14日が、は、14日が、は、14日が、は、14日が、は、14日が、は、14日が、は、14日が、は、14日が、は、14日が、は、14日が、は、14日が、14日が、14日が、14日が、14日が、14日が、14日が、14日が	ープ内での対話の整理が大切で分野(実験・するとを全一点をでのができません。) では、 一次での、 一点では、 一点で	正さない)。 基礎となる題目について,実験,演などを通して課題の解決力を養いす。 書習能力),VII 汎用的技能,情報教 る。 マのレポートを,テーマごとの提出でででもる。成績とする。成績は 40% □ 実務経験のある教員による授業 電流・抵抗を測定できる。 電流・抵抗を測定できる。 電流・抵抗を測定できる。	
本科学習話教育方法 概要 受業の進む テンス 業の で 受業計画 で 大学 アクラ	目標 1 本科学 去等 め方・方法 単・一戸・フーニ	型 電響 2 本科	をの基礎とよる。 をがあるとの事者目の正と、 を持たとの事者目のにの工学験。 「とは、一人では、一人では、一人では、一人では、一人では、一人では、一人では、一人で	は基礎学力を養う上でなり、 はより表現おようでは、 はいますが、 はいずでは、 はいずでは、 はいずでは、 はいずでは、 はいずでは、 はいずでは、 はいずでは、 はいずでは、 はいずでは、 はいずでは、 はいずでは、 はいずでは、 はいずでは、 はいずでは、 はいでする。	。さらに、 を図る。 後の結果(データ)の 後の指すす。 こ VI-C 電気 ます。 こ VI-C 電気 まず で で で で で で で で で で で で で で で で で で	一プ内での対話の整理が大切で分野(実験・するとがをしたのでの対話を関する。テー点でのでは出遅いのでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	正となる題目について,実験,演などを通して課題の解決力を養いす。 「と習能力), VII 汎用的技能,情報教 る。 マのレポートを,テーマごとの提出である。成績とする。成績となった場合には,学年成績は 40% □ 実務経験のある教員による授 「実務経験のある教員による授	
本科学習版教育方法 概要 授業の進む テンス アクラー 授業計画	目標 1 本科学 去等 め方・方法 単・一戸・フーニ	学習目標 2 本科 電習 , 実実授 関	をの基礎とよる必要に をがあるというでは、 をであるというでは、 は、ここのには、 は、ここのには、 は、では、 は、は、では、 は、は、では、 は、は、では、 は、は、では、 は、は、では、 は、は、では、 は、は、では、 は、は、では、 は、は、のは、 は、は、のは、 は、は、のは、 は、は、のは、 は、は、のは、 は、は、のは、 は、は、のは、 は、は、のは、 は、は、のは、 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	は基礎学力を養う上でなり、 はより表現おようでは、 はいますが、 はいずでは、 はいずでは、 はいずでは、 はいずでは、 はいずでは、 はいずでは、 はいずでは、 はいずでは、 はいずでは、 はいずでは、 はいずでは、 はいずでは、 はいずでは、 はいずでは、 はいでする。	。さらに、 を図る。 後の結果(データ)の を図る。 後の結果(データ)の あます。 こング-C 電気・電子 で、	一プ内での対話の整理が大切で分野(実験・するのをですがなど)を重したでの対話をできます。 またい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱ	正できない)。 基礎となる題目について,実験,演などを通して課題の解決力を養いす。 書習能力), VII 汎用的技能,情報教 る。 マのレポートを,テーマごとの提出 で平均した結果を成績とする。成績 点となった場合には,学年成績は 40% □ 実務経験のある教員による授業 電流・抵抗を測定できる。 電流・抵抗を測定できる。 電流・抵抗を測定できる。 電流・抵抗を測定できる。 電流・抵抗を測定できる。 電流・抵抗を測定できる。	
本科学習版教育方法 概要 授業の進む	目標 1 本科学 去等 め方・方法 単・一戸・フーニ	マップ では、	をの基礎ととの をがあるとの をがあるとの をがあるとの をがあるとの をである。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	な基礎学力を養う上でなり、 なり表現おようでは、 なりでは、 なができるでは、 なができるでは、 なができる。 はででは、 なができる。 ながでをできる。 なができる。 なができる	。さらに、 を図る。 後の結果(データ)。 後の結果(データ)。 後のおます。ます。 こングと電電、 ます。 では、 VI-C に 提下 に よののに で まずがあ基礎 I で まずがあ基礎 I で まずがあまで まずで に で に で に で に で に で で で で で で で で で で	一プ内での対話 の整理が大切で 分野(実験・する。テ価で 出しのの対話 とか テーダが 提送) 60% ごとのの電圧・ 流回路の電圧・ 流回路の電圧・ 流回路の電圧・ 流回路の電圧・ 流回路の電圧・ 流回路の電圧・ 流回路の電圧・ 流回路の電圧・ 流流回路の電圧・ 流流回路の電圧・ 流流回路の電圧・	▼ できない)。 基礎となる題目について,実験,演などを通して課題の解決力を養いす。 す。 図能力), VII 汎用的技能,情報教 る。 マのレポートを,テーマごとの提出情点となった場合には,学年成績は 40% □ 実務経験のある教員による授 電流・抵抗を測定できる。 電流・抵抗を測定できる。 電流・抵抗を測定できる。 電流・抵抗を測定できる。 電流・抵抗を測定できる。 電流・抵抗を測定できる。 電流・抵抗を測定できる。 電流・抵抗を測定できる。	

		9週	オニ	フィスアプリケ-		Windowsの基本的な ションの基本的な使	 よ操作が行 い方を理	テス、オフィス 解・説明でき	 スアプリケー :る。	
		10週	 	フィスアプリケ-		Windowsの基本的な	よ操作が行	え、オフィス	スアプリケー	
		11週	オニ	フィスアプリケ-	Windowsの基本的な	ションの基本的な使い方を理解・説明できる。 Windowsの基本的な操作が行え、オフィスアプリケー				
	2ndQ	12週				Windowsの基本的な	ションの基本的な使い方を理解・説明できる。 Windowsの基本的な操作が行え、オフィスアプリケー			
		13週			ーションの使い方(6)	Windowsの基本的な	ションの基本的な使い方を理解・説明できる。 Windowsの基本的な操作が行え、オフィスアプリケー			
		14週			ションの母いさ(ス) しょっという Windowsの基本的な操作力		よ操作が行			
		15週		期復習	2 2 2 3 20 73 (7) 7 7 11 7 3	^{3号} ションの基本的な使	いりを埋	解・説明でき	ිරං	
		16週				甘木如+>雨フ同吃如		プロウム 41+	ンストが示さ	
		1週	直流	流計測のしくみ(් බං			· 		
		2週	直流	流計測のしくみ((2)	基本的な電子回路部 る。				
		3週	直流	流計測のしくみ((3)	基本的な電子回路部 る。	品を用い	て回路を組む	ことができ	
	240	4週	直流	流計測のしくみ((4)	基本的な電子回路部 る。	品を用い	て回路を組む	ことができ	
	3rdQ	5週	直流	売計測のしくみ(計測のしくみ(5)		品を用い	て回路を組む	ことができ	
		6週	直流	売計測のしくみ((6)		基本的な電子回路部品を用いて回路を組むことができる。			
AV HP		7週	直流	流計測のしくみ(7), レポート指導			基本的な電子回路部品を用いて回路を組むことができ			
後期		8週	光道	* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *		部品をはんだ付けし	部品をはんだ付けして電子回路を組み立てることがで			
•		9週	光道	` ,			きる。 部品をはんだ付けして電子回路を組み立てることがで			
		10週	光道	` ,		部品をはんだ付けし	部品をはんだ付けして電子回路を組み立てることがで			
		11週		. ,	····································		きる。 効果的なプレゼンテーションができる。			
	4thQ	12週			` '		効果的なプレゼンテーションができる。			
		13週	プレ	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		効果的なプレゼンテ	効果的なプレゼンテーションができる。			
		14週			` '					
		15週	後期	期復習	, ,					
		16週								
	アカリキ			習内容と到達				T	1	
分類		5	野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週	
	1 工学基礎				目的に応じて適切な実験手法を選択し、実験手順や実験装置・測定器等の使用方法を理解した上で、安全に実験を行うことができる。			3		
基礎的能力		*	_学実験技	女 工学実験技 術	実験テーマの目的を理解し、適切な手法により取得したデータから近似曲線を求めるなど、グラフや図、表を用いて分かり易く効果的に表現することができる。		データか 0易く効	3		
		- 術	術	र्गित	必要に応じて適切な文献や資料を収集し、実験結果について説明でき、定量的・論理的な考察を行い、報告書を作成することができる。		ー ハて説明 ことがで	3		
					個人あるいはチームとして活動する際、自らの役割を認識して 験・実習を実施することができる。		 哉して実	3		
				子計測	精度と誤差を理解し、有効数字・誤差の伝搬を考慮した計測値の 処理を行うことができる。		計測値の	4		
専門的能力	分野別σ. 門工学		電気・電子 系分野		指示計器について、その動作原理を理解し、電圧・電流測定に使用する方法を説明できる。		 則定に使	4		
			·/J 1-3		旧事なの方法を記りてきる。 旧本器・分流器を用いた電圧・電流の測定範囲の拡大手法について説明できる。			4		
			気・電子		実験装置・器具・情報機器等を	利用して直流や交流の電気	 気的特性	4		
	分野別の 学実験・	(幸 3	系分野(実 発・実習能	〖 系分野(実	を測定できる。 実験装置・器具・情報機器等を安全に正しく利用できる。			4		
	習能力		J)		直流回路の電気諸量を測定し、結果を考察できる。			4		
					他者の考えや主張を理解するために、相手を尊重し配慮する態度 をとることができる。					
分野横断的 能力	汎用的技	能 -]ミュニク -ションス		目的に応じた適切な方法で自分の考えや主張を伝えることができる。			3		
C 4041		#	=ル		る。 多様な他者との間で良好な人間関係を形成するための行動ができる。		3			
評価割合					♥º			<u> </u>	l	
			;	ポートフォリオ	その他		合計			
総合評価割合 60 40										
総合評価割	合			60	40		100			

専門的能力	60	40	100
分野横断的能力	0	0	0